

# ヤルタ会談とポーランド

## NHKスペシャル【映像の世紀6 勝者の世界分割】をもとに

1945年2月 ソ連の保養地[1] \_\_\_\_\_ ]に各国の首脳があつまり、会談がもたれた。

集まったのはアメリカの[2 \_\_\_\_\_ ]大統領、イギリスの[3 \_\_\_\_\_ ]首相、およびソ連の[4 \_\_\_\_\_ ]書記長であった。

第二次大戦末期の連合軍の作戦とともに、5 \_\_\_\_\_ を決めた。  
→戦後世界の枠組みがここで決められた。

### 1. 会談をめぐる状況

①当時、西部戦線ではアメリカ・イギリス軍がドイツ国境に迫り、東部戦線では[6 \_\_\_\_\_ ]が、[7 \_\_\_\_\_ ]の大規模な援助を受けて破竹の進撃を進めていた。

②会談に臨み、ルーズベルトは8 \_\_\_\_\_ をめざし、ソ連は9 \_\_\_\_\_ と考えていた。

これに対し、チャーチルは10 \_\_\_\_\_ をおそれていた。

またスターリンは[11 \_\_\_\_\_ ]を警戒し[12 \_\_\_\_\_ ]を信頼していた

### 2. ドイツ処理・ポーランドをめぐる問題

①ソ連は、ドイツに対し[13 \_\_\_\_\_ ]として14 \_\_\_\_\_ の80%の接收を要求していた。

これにたいしイギリスは[15 \_\_\_\_\_ ]の失敗に学び、[16 \_\_\_\_\_ ]した。

②ドイツは米・英・[17 \_\_\_\_\_ ]・ソの4カ国による[18 \_\_\_\_\_ ]が決められた。

③会談最大の争点は[19 \_\_\_\_\_ ]問題であった。

ポーランドは[20 \_\_\_\_\_ ]後独立を達成したが、ヒトラーはその領土を奪うことをめざして、1939年9月この国を攻撃することで[21 \_\_\_\_\_ ]を引き起こした。

この直前、ドイツと[22 \_\_\_\_\_ ]を結んでいたソ連も、開戦と同時にポーランドに侵入、23 \_\_\_\_\_ 。

スターリンは安全のため[24 \_\_\_\_\_ ]攻撃に当たるルートに当たるポーランドの25 \_\_\_\_\_ 。

これにたいし、チャーチルは26 \_\_\_\_\_ となったポーランドを[27 \_\_\_\_\_ ]陣営として確保することをめざしていた。

ロンドンにはポーランドの[28 \_\_\_\_\_ ]政府が成立していた。

③このころ、ロシアのカチンの森で約4000人の[29 \_\_\_\_\_ ]の虐殺死体が発見された。これは[30 \_\_\_\_\_ ]の犯行と考えられ[31 \_\_\_\_\_ ]との関係を切る目的と考えられる。

④ソ連は[32 \_\_\_\_\_ ]を中心に親ソ的な[33 \_\_\_\_\_ ]政権を樹立した。

⑤ポーランドでは、ロンドンの亡命政府のもとに[34 \_\_\_\_\_ ]と呼ばれる35 \_\_\_\_\_ が結成されていた。

ソ連軍がワルシャワに接近すると[36 \_\_\_\_\_ ]の呼びかけによって[37 \_\_\_\_\_ ]は戦闘を開始した。

蜂起は成功するかに見えたが、ソ連が38 \_\_\_\_\_ したため、ドイツ軍による報復がはじまり、ヒトラーは39 \_\_\_\_\_ を命じ、市民の[40 \_\_\_\_\_ ]人が死んだ。

ソ連軍が攻撃を開始したのは、41 \_\_\_\_\_ の最中であった。そしてソ連軍は[42 \_\_\_\_\_ ]政府とともにワルシャワに入場することになる。

こうした状況の下、結局、ポーランドは[43 \_\_\_\_\_ ]を[44 \_\_\_\_\_ ]にゆずり、かわって[45 \_\_\_\_\_ ]をえることになる。

この動きにたいし、チャーチルは[46 \_\_\_\_\_ ]はゆずるが、政府にロンドンの[47 \_\_\_\_\_ ]代表を加えるようにもとめた。

しかし、スターリンは[48 \_\_\_\_\_ ]政権が正統であるとして、彼と対立した。

間に立ったルーズベルトは、戦後の[49 \_\_\_\_\_ ]できめることで話をまとめた。